

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会  
大阪市天王寺区東高津町12-10  
大阪市立社会福祉センターB1F  
発行責任者 小泉 いと子  
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623  
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>  
定価 10円



大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

平成29年度 全国手をつなぐ育成会連合会  
事業所協議会全国研修大会〔東京大会〕が  
開催されました

2月17日(土)から18日(日)にかけ、平成29年度全国手をつなぐ育成会連合会事業所協議会全国研修大会〔東京大会〕が千葉市にて開催されました。今回は「夢を語れ!!事業所の未来(ものがたり)」を大会テーマとして、全国からの参加者約400名が集い2日間の日程で行なわれました。大阪市育成会からは12名の事業所職員が参加しました。



全体会に参加して

法人本部 事務局長 飯塚 聡

初日には全体会が開催されました。

開会式後に行政説明として、厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 課長代理 市川 聡氏より平成30年4月に実施される法施行3年後の見直しならびに報酬改定に関する説明がありました。

平成15年の支援費制度に始まった利用契約制度も、障害者自立支援法、障害者総合支援法と改正をしながら現在に至っています。平成29年4月には各種サービスを利用している障がい者数が81万人で、平成20年4月時点と比較して利用者数は1.9倍近く増えています。また、各種サービスを利用している障がい児数も平成29年4月では24万1千人で、平成22年4月時点と比較して9.6倍近く増えています。

これら増加の要因として放課後等児童デイサービスが挙げられるという事でした。次に公費負担の変遷についても説明があり、平成18年度には約5千6百億円であったものが、平成30年度の概算値では約2兆6千2百億円となり4.6倍近く増えています。平成30年4月に報酬改定となりますが、今回は医療・介護・障がいの3分野同時改定になります。各分野別に過去10年間の年平均伸び率も示され、医療分野では対前年度比平均が2.8%増で、介護分野では対前年度比平均が5.3%増に対し、障がい分野では対前年度比平均が10.4%増と桁違いに伸びているという事でした。これらの結果から、障がい者の社会参加の機会が増えてきつつあると評価できますが、一方で政府がこのまま障がい福祉に財源が投じ続けられるかという点が心配です。国の方では今後、福祉的な課題について、全てを国や地方公共団体で支え続けるのではなく、地域のインフォーマルなサービスも活用するといった「我が事、丸ごと」を打ち出しています。

次に平成30年4月の報酬改定に伴う改定内容の要旨について説明がありました。内容については前月の『ふれあい』に掲載されているので、そちらをご覧ください。これ以外に次期報酬改定に向けた懸案事項として、食事提供加算のあり方検討やサービスの質に関する調査研究等を行っていくとありました。

行政説明の次には、シンポジウムが開催されました。今回のシンポジウムは「夢を語れ!!事業所の未来(ものがたり)」と題し、全国事業所協議会 副委員長であり、関東・甲信越ブロック運営委員でもある松崎 伸一氏の進行で進められました。

最初のシンポジストは行政の立場からとして、全国手をつなぐ育成会連合会 政策センター委員であり、内閣府 障害者差別解消法アドバイザーの又村 あおい氏から、平成30年4月の法施行3年後の見直しを中心にした話がありました。